



夏季休業を迎える前の一コマ

今日と明日とで補習授業校の学習はひと区切りとなります。夏季休業を前に、補習授業校ならではの光景が見られました。

一つは、他地域や日本へ移動する友だちとの別れの光景です。みんなが書いてくれた寄せ書きを先生からプレゼントされていました。そこには、一緒に勉強したことや遊んだこと、行事のことなどについて書かれていたことと思います。寄せ書きに目を落としている後姿は、自分の転校をあらためて確認しているようにも見えました。このメッセージカードは、次の学校で過ごしていくときの力強い後押しとなることでしょう。

もう一つは、LI 校中高等部の移動教室です。現地校校舎が急に使えなくなり、W校へ移動して学習することが、年間数回あります。夏季休業前後はこうしたことが起こりがちです。長時間の移動で疲れる生徒もいると思いますが、いつもと違う状況を楽しむことができるのが若い子たちの特徴でもあります。雰囲気の違いで友達と勉強することを新鮮に感じたかもしれません。帰る前には、みんなで記念撮影をしてバスに乗り込みました。登下校のバスの中では会話も弾み、ちょっとした校外学習、社会見学的な1日だったのではないのでしょうか。

4月からの3か月間、友だちとの出会いと別れ、友達と過ごす楽しい一日など、友だちとともに補習授業校で重ねていく日々が子供たちの成長の糧になっていると感じます。ニューヨークの地で友だちと過ごす時間を、より良いものにしていくことが、教師と保護者、補習校に関わる大人の務めだと改めて感じています。子どもたちには、夏季休業中も良い時間を過ごしてもらいたいと思います。

